



## 第2回函南ブランド認定 新たに21品を追加



▲10事業所・個人、21品が新たに認定されました

11月28日、函南町役場で「第2回函南ブランド」の認定証授与式が行われました。

第2回函南ブランドには、10事業所・個人、26品の応募があり、認定審査委員会で食味や物語性、独自性、将来性などを審査し、10事業所・個人、21品が認定されました。

認定品は、丹那牛乳や関連加工商品などで、函南ブランドロゴマークのシールを貼るなどして普及を図っていきます。認定品は各店舗で販売のほか、道の駅伊豆ゲートウェイ函南などで販売する予定です。

## こども音楽コンクール東日本大会出場報告 函南中箏曲部

11月28日、東京都で開催された「こども音楽コンクール東日本大会」(11月25日開催)に、函南中学校箏曲部が出場したことを森町長に報告しました。

同部は、6月のテープ審査、8月の地区大会で優秀賞を受賞し、審査の結果、東日本大会の出場権を得ました。岡田悦乃部長は、「3年連続で東日本大会に出場でき、大きな経験になった。1年生から3年生が一致団結できたことを誇りに思う」と話してくれました。



▲大会出場までの経緯などを説明する岡田さん



## 函南町教育フォーラム2017 見守りや学校の良さを紹介



▲学校の良さや地域と連携した活動などを紹介しました

11月30日、函南町文化センターで「函南町教育フォーラム2017」が行われました。

同フォーラムには、町の教育関係者や住民など約350人が参加。第1部の実践研究発表では、7月に地域と連携して学校運営を行う「コミュニティ・スクール」に指定された桑村小・丹那小の児童、地域住民、教員らが体験学習や交流授業などコミュニティ・スクールとしての実践を発表。第2部のフォーラム・ディスカッションでは、「函南教育の『今』、そして『これから』」をテーマに意見交換が行われ、教職員、中・高生、保護者、地域住民の各代表が函南教育の評価できる「よい点」や「課題」について熱い思いや期待などが語られました。



## フリマでリサイクル推進 76区画が出店し衣類などを販売



▲買い物を楽しむ来場者でにぎわいました

11月12日、函南町役場駐車場でフリーマーケットが行われ、76区画の店舗が出店しました。

会場では、衣類やバッグ、靴、おもちゃ、食器などさまざまな品物が販売され、目当ての品を求め大勢の来場者でにぎわいました。

この他に、液肥の無償配布、不要になった小型家電に含まれるリサイクル材を活用する都市鉱山からつくる「みんなのメダルプロジェクト」のPRが行われ、3R(リユース、リデュース、リサイクル)についての啓発も行われました。



## 静岡県畜産共進会 乳牛の部 最高位の名誉賞を受賞

11月16日、長泉町で行われた「第91回静岡県畜産共進会 乳牛の部」(11月14日開催)で、内田利光さん(鬘之沢)が出品した「ハートロックシルキア ジョーダン」が最高位の名誉賞を受賞したことを森町長に報告しました。

同共進会には、県内各地区を代表する乳牛が出品され、内田さんの牛は容姿や乳房の形などが高い評価を受け、同賞を受賞したとのこと。

また、内田さんを含めた函南町から出品した乳牛2部門が最優秀賞、7部門が優秀賞を受賞しました。



▲名誉賞を受賞したことを報告する内田さん(前列右から3番目)



## 湯〜トピアかなみ15周年記念祭 5つのテーマの各種催し



▲オープニングセレモニーとして田方農高吹奏楽部の演奏が行われました

11月23日、15周年を迎えた湯〜トピアかなみで「15周年記念祭」が行われました。

記念祭では、田方農高吹奏楽部の演奏やかなみ屋台のグルメコーナー、そば打ち実演とお振舞い、美容ブースコーナー、チャレンジゲームコーナーなどの「食す」「癒す」「動く」「楽しむ」「美しく」の5つのテーマに分かれた各種催しが行われました。

また、当日は変わり風呂を「りんご風呂」、大人700円、子ども300円の入館料を15周年にちなんで一律150円(時間制限なし)にし、家族連れなどたくさんの来場者でにぎわいました。